

【】年代のあらし方

[解答 1]

(1) 世紀	(2) 紀元前(BC)	(3) 12 世紀	(4) 16 世紀
--------	-------------	-----------	-----------

[解説]

西暦はイエスが生まれたと考えられていた年を第 1 年と決めたもので、それよりも前を紀元前(BC)、後を紀元後(AD)で表す。世紀は 100 年を一つの単位として区切ったものである。1 年~100 年を 1 世紀, 101 年~200 年を 2 世紀という。1192 年は 1101~1200 年の間にあるので 12 世紀である。また、1600 年は 1501~1600 年の間にあるので 16 世紀である。

明治・大正などを年号(元号)という。大化の改新後、中国にならってはじめて「大化」という年号を定めた。

[解答 2]

(1) 西暦	(2) 年号(元号)	(3) 大化
--------	------------	--------

[解答 3]

(1) 原始, 古代, 中世, 近世, 近代, 現代	(2) 縄文時代, 弥生時代, 古墳時代, 奈良時代, 平安時代, 鎌倉時代, 室町時代, 安土・桃山時代, 江戸時代
----------------------------	-------------------------------------------------------------

【】人類の出現と進化

[解答 4]

(1) 木	前足	氷河	火	言葉
(2) アウストラロピテクス	(3) 打製石器	(4) 岩宿遺跡	(5) 旧石器時代	

[解説]

最も古い人類は 400 万年前のアウストラロピテクスで、その骨がアフリカで発見されている。彼らは、サルによく似た動物(類人猿)で 4 本足で森林の木の上で生活していた。環境が変わり、森が少なくなってきたため、草原でも食べ物をさがすようになり、うしろ足で大地に立ち、自由になった前足(手)で、木ぎれや石を道具として使い始め、脳が発達していったと考えられる。また、立つて歩くことで重い脳を支えられるようになり脳の発達を助けたと考えられる。そのうちに石を打ち欠いて、するどい刃をもつ道具(打製石器)をつくることを覚えた。打製石器を使い、狩りや漁、採集などで生活していた時代を旧石器時代という。

今から 100 万年ほど前から、地球は氷河時代に入ったが、その間にも人類は少しずつ進化し、やがて火を使って冬の寒さをしのいだり食べ物を調理するようになり、また、狩りをするときなど、仲間と言葉を使って協力するようになった。中国の首都郊外で約 50 万年前の地層から発見された北京原人の洞くつからは灰の層も発見され、火を使っていたことが確かめられている。

今から 10 万年ほど前、現在の人類の直接の祖先にあたる新人(ホモ・サピエンス)があらわれ、世界中に広がっていった。「新人」のうちフランスで発見されたのはクロマニヨン人である。

[解答 5]

B, C, D, A

[解答 6]

(1) ACB (2) 打製石器 (3) 『直立二足歩行』が先。直立二足歩行によって脳が発達したから

[解答 7]

(1) 猿は4足歩行であるが、人類は2足歩行である	(2) アウストラロピテクス
(3) アフリカ大陸	(4)a 道具 b 言葉 c 火 (5) 北京原人
(6) クロマニヨン人	(7) 打製石器 (8) 旧石器時代 (9) ダーウィン

[解答 8]

(1) オ (2) エ (3) イ (4) ア

[解答 9]

(1) アウストラロピテクス (2) 打製石器

[解答 10]

直立して歩く、道具を使用、火を使用、言葉話す

[解答 11]

(1) マンモス (2) 獲物が多くとれることをいのって描いた

【】新石器時代

[解答 12]

土器	磨製	新石器	農耕	牧畜
----	----	-----	----	----

[解説]

今から1万年ほど前に、氷河時代が終わり気温が上がると、食用となる木の実が増えた。人々は木の实や魚や貝をとり、弓と矢を用いて動物をとらえたりするようになった。このころ土器が発明され、食べ物を煮ることができるようになった。また、表面をみがいた磨製石器もつくられるようになった。土器や磨製石器を使うようになったこの時代を新石器時代という。

この時代、野生の植物を栽培する農耕や、野生の動物を飼いならす牧畜も始められた。

[解答 13]

(1) 土器 (2) 磨製石器 (3) 新石器時代

[解答 14]

磨製石器

[解答 15]

磨製石器

[解答 16]

イ, ウ

【】古代文明

[解答 17]

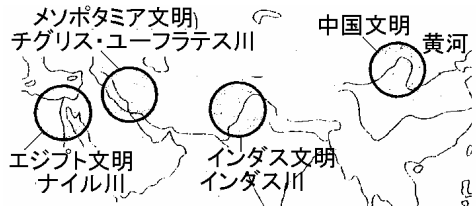
(1) 神	(2) 王	(3) 大河	(4) 金属	(5) 文明
-------	-------	--------	--------	--------

[解答 18]

(1) A エジプト文明, エ	B メソポタミア文明, ア	C 中国文明, ウ
(2) 大きな川の流域にあり, 農業が発達したから		

[解説]

四大文明は、いずれも土地の肥えた大河の流域で、水と太陽に恵まれたところに発生し、農耕生活を基盤に文化が発達した。大河の氾濫の治水作業を通して国家が成立していった。



エジプト文明はナイル川流域で発達した。石づくりの巨大な王の墓であるピラミッドで有名である。エは死後の世界の案内書としてミイラとともに棺に納められたバビルス文書で象形文字で書かれている。太陽暦が使われた。



メソポタミア文明はチグリス川とユーフラテス川流域で発達した。くさび形文字が使われた。紀元前 18 世紀ごろにつくられたハンムラビ法典で名高い。太陰暦, 七曜制, 60 進法が使われた。中国文明は黄河流域で発達した。亀の甲や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。

インダス文明はインダス川流域で紀元前 2500 年ごろにおこった文明である。モヘンジョ=ダロの遺跡で有名である。インドでは紀元前 6 世紀ごろ, シャカが仏教を開いた。

ローマ帝国に支配されていたパレスチナで, キリスト教をおこしたのはイエスである。

[解答 19]

(1) A エジプト文明	B メソポタミア文明	C インダス文明	D 中国文明	(2) エ
--------------	------------	----------	--------	-------

[解答 20]

(1) メソポタミア	エジプト	チグリス川・ユーフラテス川			
インダス川	(2) c, くさび形文字	a, 象形文字	b, 甲骨文字		
(3) カ	ク	ア	ウ	エ	イ

[解答 21]

(1) 太陽暦	(2) 太陰暦	(3) ハンムラビ法典
---------	---------	-------------

[解答 22]

(1) シャカ	(2) イエス
---------	---------

【】中国の古代帝国

[解答 23]

黄河	青銅	甲骨文字	鉄
儒教	始皇帝	万里の長城	漢

[解説]

中国文明が起こったのは黄河流域である。殷の時代には、亀の甲や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。殷を滅ぼした周は、やがて、支配力を弱め、多くの国が争う春秋・戦国時代になった。この混乱期に儒教などの思想が生まれた。

紀元前3世紀に中国を統一して秦という国を成立させたのは始皇帝である。始皇帝は北方の遊牧民の侵入を防ぐために万里の長城を築いた。しかし、万里の長城の建設や度重なる外征に多くの農民をかりたてたため、始皇帝の死後各地で反乱が起きて秦は滅び、漢がこれにかわった。漢の時代に西のほうではローマ帝国が栄えていたが、この2つの文明はシルクロードでつながっていた。

[解答 24]

(1) D	(2) 黄河	(3) 甲骨文字	(4) 始皇帝	(5) 万里の長城
-------	--------	----------	---------	-----------

[解答 25]

(1) 中国文明	(2) 甲骨文字	(3) 始皇帝
----------	----------	---------

[解答 26]

(1) 黄河	(2) 甲骨文字
--------	----------

[解答 27]

(1) 甲骨文字	(2) 黄河	(3) 秦	(4) 漢
----------	--------	-------	-------

[解答 28]

(1)A 殷	B 周	C 秦	D 漢	(2) 始皇帝
(3) 万里の長城		(4) 鉄器	(5) シルクロード	

[解答 29]

高句麗

【】日本の旧石器～縄文時代

[解答 30]

大陸にすんでいたナウマンゾウやオオツノジカの化石が見つかったことから

[解説]

氷河時代には、海面が今よりも 100m 以上も低く、日本列島は、大陸と陸続きであった。そのため、マンモス・ナウマン象・オオツノジカなど大型の動物がやってきた。それらの動物を追って、打製石器の刃先のやりをもった狩人と、その家族もやってきた。

[解答 31]

岩宿	打製石器
----	------

[解答 32]

1	縄文	縄文	土偶	新
磨製	たて穴住居	貝塚	三内丸山	

[解説]

今から約 1 万年ほど前、氷河時代が終わり、日本列島が形成された。約 1 万年前から紀元前 3 世紀ごろまでの約 8000 年間は縄文時代という。世界的には新石器時代で、表面をみがいて刃をすどくした磨製石器が使われていたが、食料が豊富だったため、農耕や牧畜は発達しなかった。この時代に、人々は土器を作るようになったが、表面をたいらにするために縄をこころがしてつけた模様をもつものが多いことから、この土器を縄文土器と呼んでいる。土偶は、粘土を焼いて作った土人形で、女性をかたどったものが多い。魔よけや豊かな食物を祈るために使われたと考えられている。縄文時代の住居はたて穴住居である。たて穴住居は、地面を掘り下げて床とし、草ぶきの屋根をかけたもので、床のまん中には石でかこんだ炉を作り、すいじや暖房に使った。貝がらなどのゴミをすてたものが堆積した遺跡を貝塚というが、土器・石器・骨などが貝がらに含まれるカルシウム分に保護されて腐食せずに残っているために、当時の生活を知る上での貴重な資料になっている。この時代の代表的な遺跡は青森県で発見された三内丸山遺跡である。縄文時代の遺跡は中部・関東・東北地方に多いが、これはこれらの地方がサケなどの食料にめぐまれていたためと考えられる。



縄文土器



弥生土器



土偶



たて穴住居

[解答 33]

(1) たて穴住居	(2) 貝塚	(3) 約 1 万年前	(4) 土偶
(5) 魔よけや食物の豊かさをいのるため			

[解答 34]

(1) マンモス	(2) 縄文時代	(3) 縄文土器	(4) たて穴住居
(5) 貝塚	(6) 磨製石器	(7) 土偶	

[解答 35]

(1) たて穴住居	(2) 貝塚
-----------	--------

[解答 36]

三内丸山遺跡

[解答 37]

エ

[解答 38]

(1) さけなどの魚介類が豊富に捕れたから	(2) アイヌ人
-----------------------	----------

【】弥生時代

[解答 39]

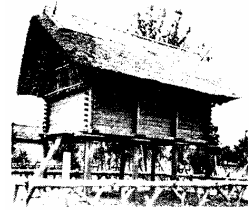
稲作	高床倉庫	青銅器	弥生	吉野ヶ里
----	------	-----	----	------

[解説]

紀元前4世紀,大陸(おもに朝鮮半島)から渡来した人々によって,稲作が九州北部に伝えられ,やがて東日本にまで広がった。人々は水田の近くにむらをつくって住み,たて穴住居の近くには,収穫した稲の穂をたくわえるための高床倉庫もつくられた。高床倉庫は,湿気を防ぐために床を高くし,はしごや柱の床下部にはねずみがえし



石ぼうちょう



高床倉庫

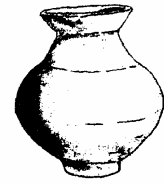
がつけられている。石ぼうちょうは稲の穂をつみとるのに使われた。稲作とともに,青銅器や鉄器などの金属器も伝えられた。銅剣・銅矛・銅鐔などの青銅器は祭りのための宝物として用いられ,鉄器は武器として使われたほか,木製の農具や舟を作る道具として用いられた。このころに作られた土器はかざりが少なくうすで上質の弥生土器である。弥生時代を代表する遺跡は,佐賀県で発見された吉野ヶ里遺跡で,外敵の侵入を防ぐため二重の壕に囲まれ,高い柵がめぐらされている。



銅鐔



縄文土器



弥生土器

[解答 40]

(1) 弥生時代	(2) 弥生土器	(3) 金属器
----------	----------	---------

[解答 41]

(1) 石ぼうちょう	(2) 弥生土器	(3) 朝鮮半島や中国南部から日本へ渡って来た人々
(4) 湿気を防ぐために床を高くし,はしごや柱の床下部にはねずみがえしがつけられている		
(5) 銅鐔		

[解答 42]

稲作

[解答 43]

石ぼうちょう

[解答 44]

高床倉庫

[解答 45]

(1) 銅鐻 (2) おもに祭りのための宝物として用いられた

[解答 46]

(1) 吉野ヶ里遺跡 (2) 外敵の侵入を防ぐため

[解答 47]

ウ, オ

【】縄文時代と弥生時代の比較

[解答 48]

(1) A B (2) 縄文土器 (3) 狩り・採集から稲作へ変わった

[解説]

(1)(3) A の絵では、人々が狩りをしている様子が描かれている。狩りや採集で食物を得ていたのは縄文時代である。土偶は縄文時代のものである。

B は農耕作業を行っている様子が描かれている。稲作が始まったのは弥生時代である。銅鐻などの金属器は稲作とともに大陸から伝わったものである。

(2) A の縄文時代に使われたのは、縄目の模様のはいった縄文土器である。

[解答 49]

(1) ア 縄文 イ たて穴住居 ウ 稲作 エ 弥生土器 (2) C

[解答 50]

(1) A 縄文土器 B 弥生土器 (2) A B B

[解答 51]

(1) 土偶	銅鐻	(2) 縄文時代	(3) 弥生時代
(4) (2)	(3)	(3)	(2)

[解答 52]

(1) 打製 銅鐻 弥生 (2) 縄文時代

[解答 53]

(1) 縄文土器 (2) 弥生土器

【】国々の誕生

[解答 54]

国	100	奴	漢	金印
福岡	漢委奴国王	魏	邪馬台国	卑弥呼

[解説]

稲作がさかんになると、社会のしくみも急速に変わり、小さな国々ができ、人々を支配する豪族や王が出現した。漢の歴史書には、紀元前後のころ、倭(日本)には100余りの国があり、なかには、中国へ使いを

年代	おもなできごと
紀元前後	百余国の小国に分かれていた
57年	倭の奴国の王が後漢に使いを送る
3世紀	中国では魏・呉・蜀に分かれて戦う
239年	邪馬台国の卑弥呼が魏に使いを送る

送る国もあったと記されている。また、57年には、倭の奴国の王が、漢に使いを送り、漢の皇帝から金印を授けられたことが記されている。(剛な(57)る奴国王)この金印は江戸時代に福岡県福岡市の志賀島で発見されたが、このことから、奴国は九州北部にあったと考えられる。金印にほられた「漢委奴国王」は「かんのわのなのこくおう」と読む。(金印では「倭」ではなく「委」の文字が使われている)



3世紀になると、中国では漢が減び、魏・呉・蜀の3国に分かれて戦ったが、魏志の倭人伝に239年に邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使いを送ったこと、当時邪馬台国が倭の30あまりの小国を従えていたことが記されている。(卑弥呼より文(23)く(9)る)

[解答 55]

(1) 福岡県	(2) 奴	(3) 国	豪族	100
---------	-------	-------	----	-----

[解答 56]

イ

[解答 57]

漢委奴国王

[解答 58]

奴国

[解答 59]

(1) 漢	(2) 北朝鮮	(3) 九州	(4) かんのわのなのこくおう
-------	---------	--------	-----------------

[解説]

Aは漢書地理誌で前漢の歴史書で、紀元前後のころ、倭(日本)には100余りの小さな国があり、なかには、漢へ使いを送る国もあったことが記されている。「楽浪郡方面の東方の海中に」とあるが、楽浪郡は中国が現在の北朝鮮の位置に置いた役所である。Bは後漢書東夷伝で後漢の歴史書である。

[解答 60]

(1) 邪馬台国	(2) 魏志, 倭人伝	(3) 卑弥呼
----------	-------------	---------

[解答 61]

(1) 卑弥呼	(2) 邪馬台国
---------	----------

[解答 62]

(1) 魏志	(2) 卑弥呼	(3) 工
--------	---------	-------

[解答 63]

卑弥呼

[解答 64]

(1) 奴国	(2) 魏	(3) 邪馬台国	卑弥呼	(4) 魏志
--------	-------	----------	-----	--------

[解答 65]

(1) 卑弥呼	(2) A	(3) 九州地方	(4) A イ	B ウ
C ア				

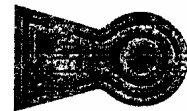
【】大和王権と古墳文化

[解答 66]

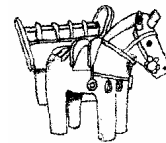
(1) 1 大和朝廷	2 大王	3 前方後円墳	(2) はにわ
------------	------	---------	---------

[解説]

3世紀後半になると、大和(奈良県)を中心とする地域には強力な国家が生まれ、前方後円墳とよばれる大きな墓(古墳)がつくられるようになった。この国を大和国家、その政府を大和朝廷といった。大和朝廷の王は、5世紀には、九州から東北地方南部にいたる各地の王を従えるようになり、大王とよばれるようになった。古墳のなかで最大のものは、5世紀につくられた全長が486mの大山西古墳である。古墳の周りや頂上には、図のような人や動物をかたどったはにわが置かれた。



前方後円墳



はにわ

[解答 67]

(1) 大和朝廷	(2) 大王	(3) 古墳	(4) はにわ
(5) 前方後円墳			

[解答 68]

(1) 前方後円墳	(2) 大王	(3) はにわ
-----------	--------	---------

[解答 69]

(1) はにわ	(2) 前方後円墳
---------	-----------

[解答 70]

(1) はにわ	(2) 大山古墳
---------	----------

[解答 71]

(1) 	(2) はにわ
------------------------------------------------------------------------------------------	---------

[解答 72]

イ

【】大和王権と中国・朝鮮との交流

[解答 73]

高句麗	新羅	百濟	加羅
大王	渡来人		

[解説]

中国大陸では 220 年に後漢が滅び、魏・呉・蜀の三国時代になった。そのあと、晋が国内を統一したが、4 世紀はじめに北方民族の侵入を受け、南北朝時代をむかえ、南と北とに分かれて対立していた。これによって、朝鮮半島への支配力が弱まり、朝鮮では高句麗、新羅、百濟がおこった。



もっともはやつくられたのは高句麗という国で、4 世紀はじめに楽浪郡を滅ぼした。南部では小さな国々を統一して百濟と新羅がおこった。538 年に日本に

仏教を伝えたのは百濟である。大和國家は、朝鮮半島南部の鉄資源を確保するために加羅(任那)地方と密接な関係を持っており、小国が分立していた加羅の国々や百濟と結んで、高句麗や新羅と戦った。大和國家は、倭の王としての地位と、朝鮮半島南部を軍事的に指揮する権利を中国の皇帝から認めてもらうために、しばしば中国の南朝に使いを送った。

朝鮮の諸国との交流がさかんになると、朝鮮半島から日本に、一族でまとまって移り住む人々が増えた。こうした渡来人は、鉄製の農具や、かんがいのため池をつくる土木技術、須恵器というかたい質の土器をつくる技術、絹織物をつくる技術を伝えた。文化面では、漢字、仏教、儒教を伝えた。

[解答 74]

(1) 加羅, エ	百濟, ウ	高句麗, ア	新羅, イ
(2) 渡来人			

[解答 75]

(1) 高句麗	新羅	(2) 漢字(儒教, 須恵器など)
---------	----	-------------------

[解答 76]

(1) 渡来人	(2) 加羅	(3) 高句麗
---------	--------	---------

[解答 77]

(1) ウ	(2) 倭の王としての地位。朝鮮南部を軍事的に指揮する権利。
(3) 大王	

[解答 78]

倭の王としての地位と、朝鮮半島南部を軍事的に指揮する権利を中国の皇帝から認めもらうため

[解答 79]

(1) 大和国家	(2) 大王	(3) 渡来人
----------	--------	---------

[解答 80]

ア 渡来人	イ 儒教	ウ 仏教
-------	------	------

[解答 81]

渡来人

[解答 82]

渡来人